

株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

2024年3月期(第63期) 報告書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

enplas

enplas

株式会社エンプラス

Contents

- 01. 企業理念
- 02. 株主の皆様へ
- 04. 連結業績の推移
- 05. 事業別概況
- 06. エンプラスのESG
- 07. 特集1 新社屋の建設（イノベーションセンター）
- 08. 特集2 キャッシュアロケーション方針
- 09. 会社概要/株式情報/株主メモ
- 10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク
- 巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク

企業理念



使命

独創的アイデアを総合技術で価値ある製品に変え、より良い未来を支えます

経営姿勢

強靱な経営基盤をもとに、創造と挑戦を繰り返し、自ら変革し続けます

行動指針

信頼こそ全ての基本

- ・謙虚な姿勢と感謝の心を大切にします
- ・公明正大に行動します
- ・新たな価値の創造に挑戦します

株主の皆様へ

私たちはソリューションプロバイダーとして、より良い未来の実現に向け、さまざまな企業活動に取り組んでおります。



代表取締役社長 横田大輔

Q

第63期の経営実績、今後の方針についてお話しください。

当連結会計年度の売上高は37,805百万円（前期比10.5%減）となり、営業利益は4,645百万円（前期比47.3%減）、経常利益は5,263百万円（前期比40.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,443百万円（前期比25.5%減）となりました。

各セグメントの業績につきましては5ページに掲載しております。

当社を取り巻く環境は、ビジネスコストの上昇、地政学リスク、自然災害、為替変動などさまざまな変化が起きております。このような状況の中で、事業については民生からインフラ用途を中心とする方向性に舵を切り、より変化に強いEssential領域に事業ポートフォリオを転換してまいります。Essential領域とは、人と地球のQOL

（クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域であり、具体的には環境負荷を減らし、人々の健康で安心安全かつ快適な生活を支える領域と定義しております。そして、お客様に喜んでいただけるような当社ならではの「お客様にとっての価値」を生み出していく、ソリューションプロバイダーへの業態転換を進めてまいります。

上記のことから「付加価値経営の徹底」を第64期の経営基本方針として掲げております。

Q

新社屋建設についてお話しください。

当社は、持続的な企業価値の向上を通じて企業理念を実現するために、お客様にお喜びいただけるソリューションと価値ある製品を創出し続けることが必要である、と考えております。お客様の課題抽出からソリュー

株主の皆様へ

ション提案までのスピードを加速する中核拠点として、現在事業毎に分散し老朽化も進んでいる研究開発施設を集約し、研究開発と実験環境の整備を進めてまいります。

また、今後さらに多様化する働き方にも対応し、高い生産性を実現する、安全安心を第一とした就業環境を整備してまいります。詳細は7ページに記載しておりますので、ご覧いただけますと幸いです。

Q 株主還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により強固な財務体質を堅持するとともに、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針としております。

上記の基本方針と当期の業績等を総合的に勘案し、中間配当については1株当たり30円、期末配当については1株当たり30円とし、年間60円といたします。

Q 株主の皆様一言お願いします。

当社は、創業以来、素材開発、プロセスエンジニアリング開発、評価技術開発を推進し、それまで不可能と考えられていたものを製品化、量産化することで、世界中のお客様と共に、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。

金属ギヤの代替から始まった当社の事業も、今では、半導体、ライフサイエンス、モビリティ、高速光通信などの幅広い分野に展開し、これまでに培った技術基盤をもとに、お客様の価値向上につながるソリューションを提供しております。

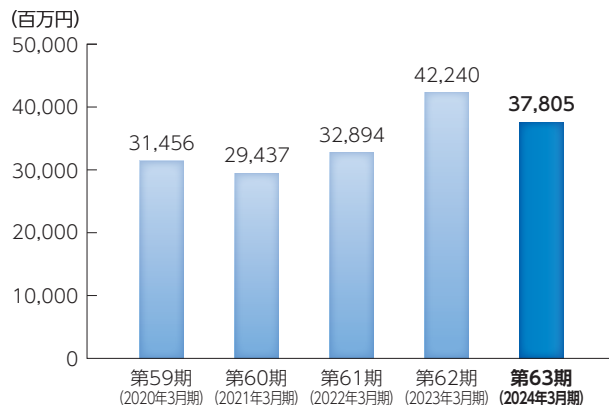
現在、環境問題や、高齢化社会、より高度化する情報社会など、持続可能な未来へ向けた課題が浮き彫りになっています。当社は、人と地球のQOLを高めるEssentialな事業分野において、これらの社会課題を解決し、持続可能な社会に貢献できるソリューション技術の展開、開発を進めてまいります。

不連続な変化が当たり前におこる現在の世の中においても、変化に即応できるスピード感を持ち、当社の技術力をさらに磨きながら、幅広い産業の未来課題の解決に挑戦してまいります。

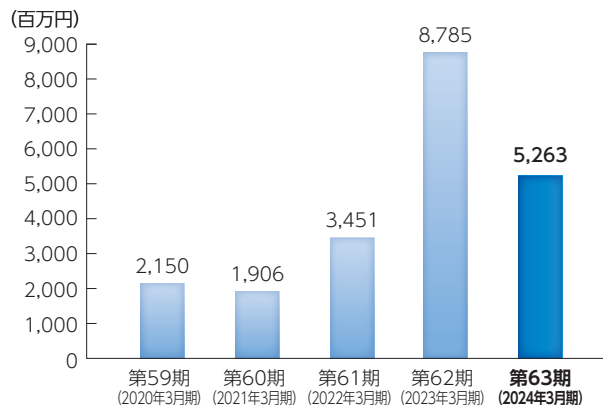
今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

連結業績の推移

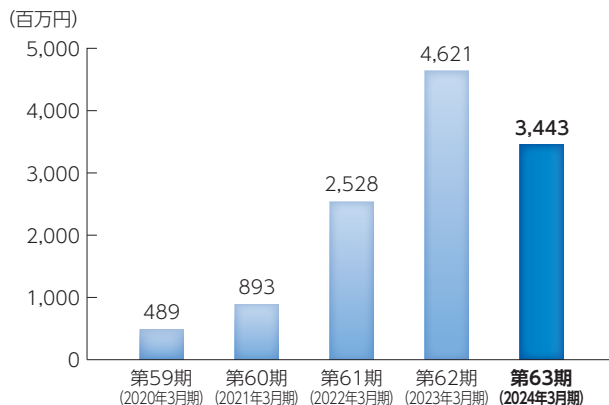
■ 連結売上高 1



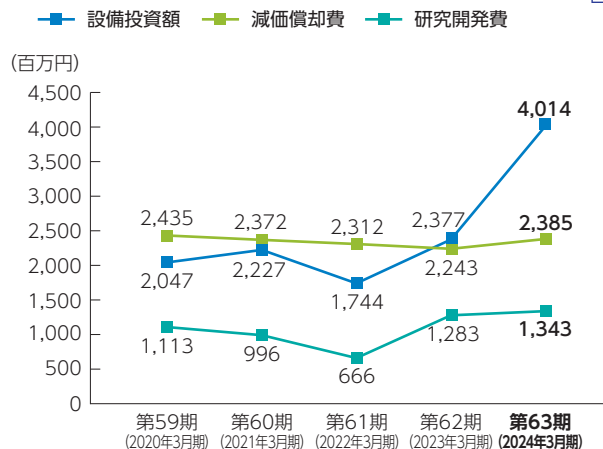
■ 連結経常利益 2



■ 親会社株主に帰属する連結当期純利益 3



■ 設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費 4

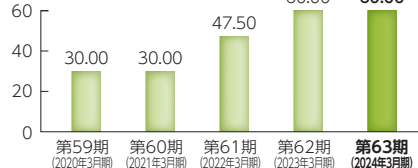


株主還元について

**1株当たり
配当金60.00円**

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績等を総合的に勘案し、中間配当を含む年間配当を60.00円とさせていただきます。

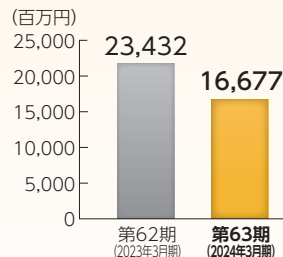
■ 配当金 (円)



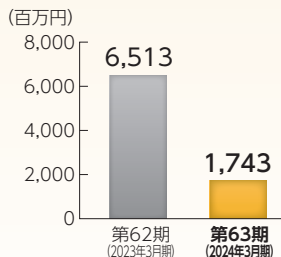
事業別概況

Semiconductor事業

■ 売上高



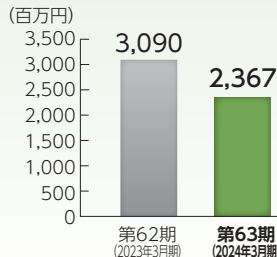
■ 営業利益



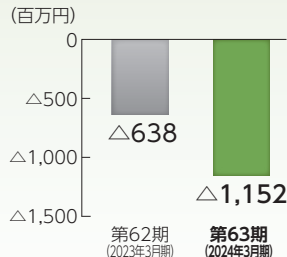
各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途とモバイル用途の市場調整が継続し、売上高は低調に推移しました。

Life Science事業

■ 売上高



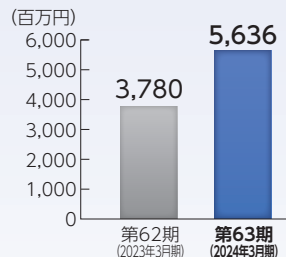
■ 営業利益



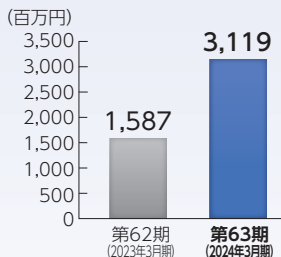
遺伝子検査用製品は、顧客の生産調整が継続し、売上高は低調に推移しました。今後、抜本的なコスト構造の見直しによる収益改善を進め、2025年3月期中の黒字化を目指してまいります。

Digital Communication事業

■ 売上高



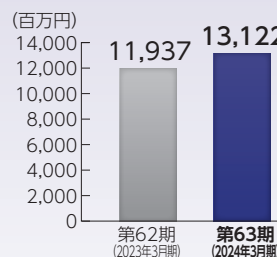
■ 営業利益



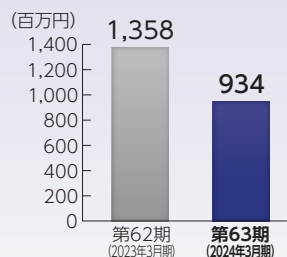
光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において高いシェアを維持し、売上高は堅調に推移しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。

Energy Saving Solution事業

■ 売上高



■ 営業利益



自動車用部品は自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギャソリユースンビジネスの拡大により、売上高は堅調に推移しました。

エンプラスのESG

Environment (環境)

環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチック及びその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通し、環境負荷の低減・省エネルギー（電力使用量等削減／CO₂削減）を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

《適用範囲》

組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
エ ン プ ラ ス 株 式 会 社	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
国 内 グ ル ー プ 会 社	株式会社エンプラス 研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス 半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

Social (社会)

エンプラス品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンジニアリングプラスチックを基盤とした総合技術による確かな品質で、世界市場のニーズに応え、社会の発展に貢献します。
2. 法令、規制、お客様の要求事項を遵守し、お客様から信頼を得られるよう行動します。
3. 品質マネジメントシステムの継続的な改善により、あらゆる変化に対応できる品質基盤を堅持します。

2020年6月10日改定

Governance (ガバナンス)

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社の経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社のコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。その企業理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現する為に、「エンプラス コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定し、コーポレート・ガバナンスの継続的な充実に取り組んでおります。

新社屋建設の目的

- ソリューションプロバイダーへの業態転換
- Essential領域での持続的な価値創出
- 新規性を追い求め続ける、企業文化の醸成



イメージバース

新社屋の概要

① 顧客課題の解決に繋がる機能評価の実現

- ▶ ラボレイアウトの刷新による多様なテーマへの対応
- ▶ 人財およびインフラの集結による共創環境づくり

② 職場の環境改善

- ▶ 多分野の知恵・技術・人から学びあい、幅広いプロジェクト経験による人財の成長
- ▶ BCPリスク、エネルギー使用量の低減
- ▶ 人財採用競争力の強化

所在地	埼玉県さいたま市大宮区北袋町一丁目602-2 (地名地番)
建物用途	研究所、事務所
面積	敷地面積8,348m ² 、延床面積13,500m ²
建物構成(予定)	1棟(地上5階、塔屋2階)
投資額	約150億円(消費税別、自己資金を充当予定)
スケジュール	2024年10月着工、2026年8月竣工(予定)

新規事業/イノベーション創出への投資、成長分野への投資を優先



事業が生み出す営業CF※

Essential領域

- ▶ Semiconductor
 - ▶ Life Science
 - ▶ 光通信関連
- 市場成長+aを目指す

基幹事業

- ▶ LED用拡散レンズ
 - ▶ Energy Saving Solution
- 生産性向上と業態転換で収益性向上

投資項目

新規事業/イノベーション創出 環境対応への投資 (160~180億円)

- ▶ イノベーションセンター(さいたま新都心)
 - ▶ 環境負荷低減
- 未来に向けた企業価値向上

成長分野への投資 (70~100億円)

- ▶ Essential領域
 - ▶ システム投資
- 収益力の向上

その他の設備投資 (60~70億円)

- ▶ 金型投資
 - ▶ 老朽化設備の入れ替え
- 生産性向上

会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(2024年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社エンプラス
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
設立 1962年2月21日
資本金 80億8,045万円
従業員数 1,521名(連結)

(2024年6月21日現在)

取締役

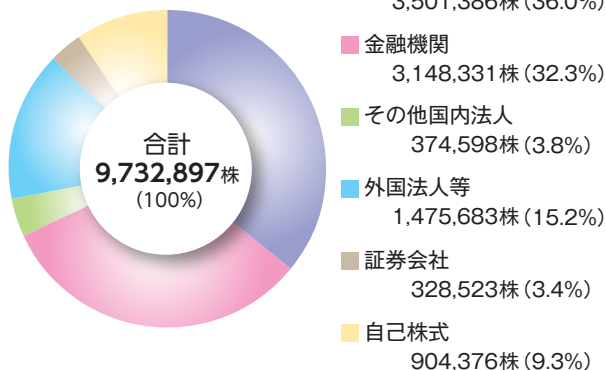
代表取締役社長	横田 大輔
取締役兼常務経営執行役員	杉 渕 幹 太
取締役兼常務経営執行役員	宮 坂 章 司
取締役兼経営執行役員	藤 田 慈 也
社外取締役	赤 塚 孝 江
社外取締役(監査等委員)	井 植 敏 雅
社外取締役(監査等委員)	久 田 眞佐男
社外取締役(監査等委員)	天 羽 稔
取締役(監査等委員)	沓 沢 茂 雄

(2024年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株
発行済株式総数 9,732,897株
株主数 3,723名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

郵便物送付先、連絡先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(お問い合わせ) ☎0120-288-324

基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

公告方法

電子公告 (<https://www.enplas.co.jp/>)

ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。

貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/>)にて開示しております。

上場金融商品取引所

東京証券取引所

グローバルネットワーク

■ 国内ネットワーク

グローバル本社

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



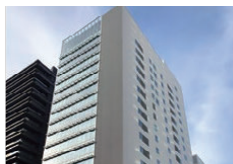
東京都
・グローバル本社
京都共創センター



本社



鹿沼工場



株式会社エンプラス半導体機器



QMS株式会社



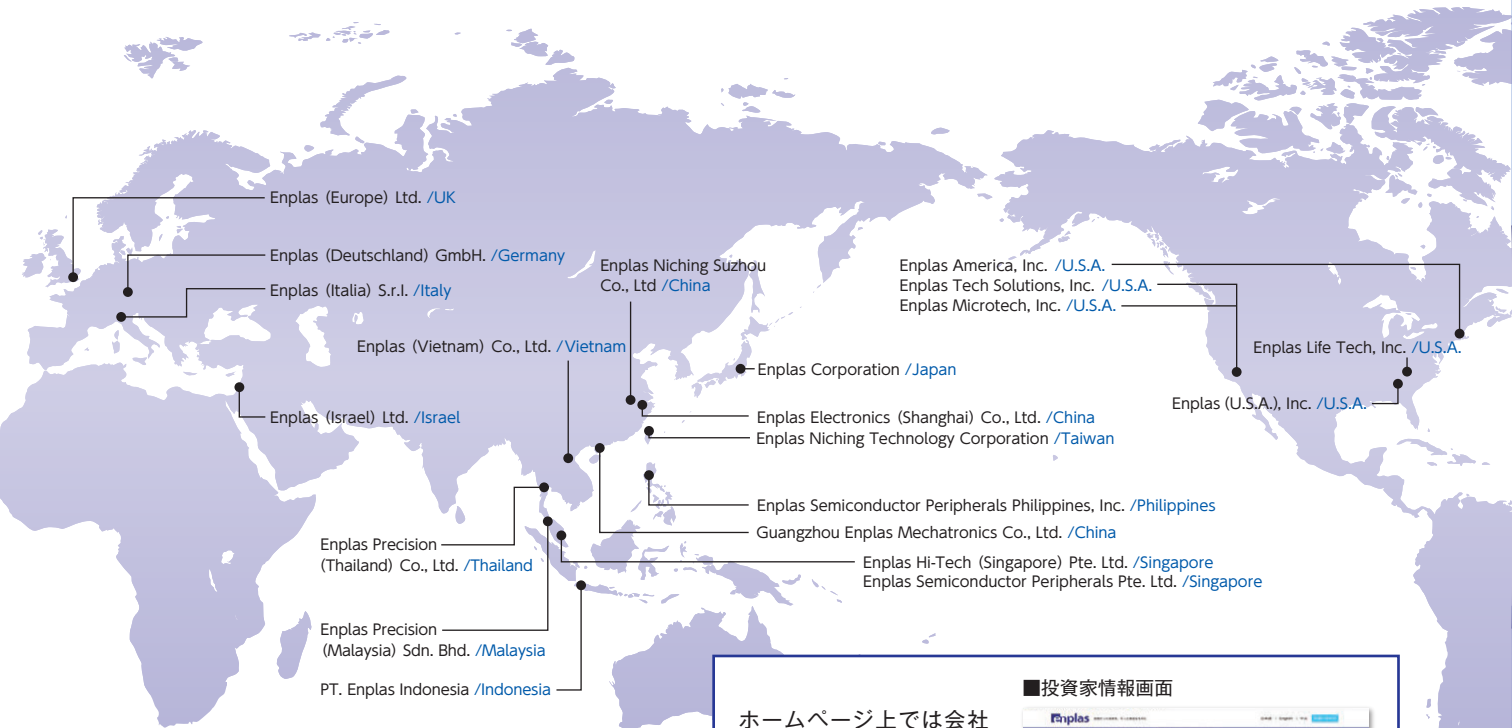
株式会社エンプラス研究所

グローバルネットワーク

■ 海外ネットワーク

技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

<https://www.enplas.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

エンプラス IR

検索

■ 投資家情報画面

